

# 親守詩を作ってみよう

1 まずは親守詩を声に出して読んでみよう

俳句形式 (5・7・5字)

- ・ ありがとう 背中にむけて いってみる
- ・ 大好きな 母さんおぶるの 僕の夢
- ・ 何気ない 会話がとても 宝物
- ・ 帰り道 いつも楽しみ 母の味
- ・ お父さん 祖父<sup>そふぼ</sup>母の思い出 教えてね

連歌 子5・7・5字+親7・7字の言葉のキャッチボールの作品です。

- (子) 「おかえり」と 母さんの声 うれしいな
- (親) 君の「ただいま」 極上<sup>ごくじょう</sup>の幸
- (子) 四にんぶん かぞくのぶんも くつならべ
- (親) 後ろ姿を にっこり見てる

短歌 (5・7・5・7・7字)

- ・ 本当は ママの娘で 良かったと ケンカしたあと ひそかに想<sup>おも</sup>う
- ・ がんばって パパのお仕事 家族のために どんなきでも おうえんしてるよ

2 思い出して書いてみよう

みなさんのすこやかな成長を愛深く見守り、支えてくださったお父さん、お母さん。みなさんはどんな時の思いを言葉にして伝えたいかな。思い浮かんだことを書いてみよう。



3 さあ、親守詩を作ってみよう!



<b>親守詩応募用紙 FAX03-6912-1720</b>			ホームページからも応募できます		
	5	7	5		
				定型詩の部	作文・詩の部 (子から親へ 140字以内の短文形式) ※短歌形式5・7・5・7・7字はこちらにお書きください。
				連歌の部	学校・園  (担当者名)
7	7	5	7	5	住所
下の句 (親御さんの作品)				上の句 (お子さんの作品)	電話番号  自宅・学校・園・所属
					氏名  学年 年齢

※ご記入いただいた個人情報は認定NPO法人まほろば教育事業団が厳密に管理します。著作権は主催者に帰属します。ご了承下さい。